



日本海

令和元年5月 第2号

<http://fujisyou.shibata.ed.jp/>

E-mail master@fujisyou.shibata.ed.jp

当たり前のこと

校長 川村 尚史

雨が降る朝のことでした。私はいつもどおり、登校してくる子どもたちとハイタッチを交わすために玄関前に立っていました。続々と登校してきた子どもたちは、玄関外側の屋根の下で傘をたたみ、傘についた雨粒を払い始めました。それは、雨粒が他の人にかからないような向きや強さで、時間をかけたとても丁寧な作業でした。しかも、ほぼ全員が同じことを行っていたのです。

私はとても嬉しくなり、近くにいた高学年の女の子に「素晴らしいね。」と声をかけました。すると、その子から返ってきたのは「えっ。普通じゃないんですか。」という言葉でした。つまり、子どもたちにとって、それは当たり前の行動だったのです。きっと登校班の上級生から下級生に脈々と受け継がれてきたのでしょう。これからも大切にしていきたい伝統です。

一方、もう少し高めたいのが、子どもたちのあいさつです。こちらから「おはようございます。」とあいさつをすると返してくれる子がほとんどなのですが、自分からあいさつをするのが苦手な子も少なくありません。登下校時に子どもたちの安全を見守ってくださっている「れんぎょうパトロール」の皆さんからも、「もう少し元気よくあいさつができるといいんだけど。」という声をいただいています。

学校では、生活委員会が「あいさつ運動」を企画し、あいさつに対する意識を高める取組を行っています。今後も、子どもたちがあいさつの意義や大切さを理解したり、あいさつすることのよさを実感したりできるように、子どもたちの主体的な取組を推進したり、発達段階に応じた指導を行ったりしていきたいと思えます。ご家庭や地域でも、声をかけていただくとありがたいです。

子どもたちにとって、「自分から」「誰にでも」「元気よく」あいさつすることが当たり前になることを願っています。

いよいよ5月26日（日）は藤塚浜大運動会です。「今こそ決戦 走れ 2色の魂」のスローガンのもと、競技や応援に真剣に取り組み、保護者や地域の皆様と積極的にかかわる子どもたちの姿が見られるのを楽しみにしています。